

教 育 研 究 業 績

2019年5月1日

氏名 高草 真知子
学位：教育学（修士）

研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
教育学、文学、国語科の教職に関する実務		国語教育学、日本古典文学、国語教科書の編集	
主要担当授業科目	国語科教育法、教育実習、教育方法論、日本文学史概論（古典）、古典文学（演習）、古典文学研究、比較伝統文化論		
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項			
事項	年月日	概要	
1 教育方法の実践例 1) 教育実習の指導	平成 30 年 4月～7月	教育実習を行う学生を対象に、教材研究や指導案の作成、生徒や指導教官との接し方等を具体的に指導した。また、実習期間中は、電話等で学生からの相談を随時受け付け、実習校に挨拶に伺い、授業を参観した。	
2) 学習指導案の作成と模擬授業の指導	平成 30 年 9月～12月	教職課程を履修している学生を対象に、学習指導案の作成や板書の効果的な活用について示し、模擬授業を行い、その振り返りを通して授業改善に役立てた。	
3) 教育実践家の指導法の研究	平成 30 年 4月～12月	大村はま等、優れた実践家の教育方法を参考に、教育の目的、授業の展開、生徒への対応について学び、レポートを課した。	
2 作成した教科書、教材 1) 新編国語総合	平成 28 年 4月	高等学校国語科の必修科目である「国語総合」の教科書を編集し、主に現代文と言語活動を担当した。	
2) 国語表現(大修館書店)	平成 30 年 4月	高等学校国語科の選択科目である「国語表現」の教科書を編集し、主に第一単元(書いて伝える)、第二部(表現を楽しむ)を担当した。	
3 教育上の能力に関する大学等の評価 1)平成 30 年度高校生による授業評価	平成 30 年 9月	麗澤中学高等学校で行った授業評価アンケートで、「総合評価」は95%、「授業満足度」は5クラス中3クラスが100%だった。(調査数 141名)	
4 実務の経験を有する者についての特記事項 1) 柏市役所主催「古典文学講座」	平成 15 年 7月～17年9月	「古典文学講座」の講師を担当し、光が丘近隣センターで「竹取物語」と「古事記」を講読した。(受講生 60～70名)	
2) 昭和女子大学「スーパーティーチャーによる教職実践講座」	平成 18 年 2月	昭和女子大学の学部・短大の教職課程履修者を対象に、「生徒の感性・洞察・思考へのアプローチ—三谷幸喜作品を用いて」と題する授業を行った。(受講生 50名)	
5 その他 1) 総合試験モニター調査テスト問題集	平成 11 年 3月	大学入試センター研究開発部が主宰する「大学の各専門分野への適性の評価を目的とする総合試験のあり方に関する共同研究」において、国語と物理を融合したテスト問題を作成した。	
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項			
事項	年月日	概要	
1 資格、免許 1) 高等学校教諭専修免許状(国語) 2) 中学校教諭専修免許状(国語)	平成 7 年 平成 8 年	平 6 高専第 180 号 平 8 中専第 2 号	
2 特許等 特記事項なし			

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1) 文部科学省の教員審査	平成 19 年	課程認定委員会における教員審査において、国語科教育法 I・II・III、教育実習 I・II が、単独担当「可」の認定を受けた。
2) 文部科学省の教員審査	平成 29 年	課程認定委員会における教員審査において、国語科教育法 I・II・III・IV、教育実習 I・II が、単独担当「可」の認定を受けた。
4 その他 特記事項なし		

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1) 精選現代文改訂版 指導資料 4	共著	平成 20 年 4 月	大修館書店	共著：島田康行、 <u>高草真知子</u> ほか 8 名 評論教材「匂いについて」(栗原康)の教師用指導書を執筆した。頁 47～68/207
2) 新編国語総合 指導資料 1	共著	平成 25 年 4 月	大修館書店	共著：門倉正二、 <u>高草真知子</u> ほか 13 名 随想教材「ワンダフル・プラネット」(野口聡一)の教師用指導書を執筆した。頁 24～46/313
3) 新編現代文 B 指導資料 1	共著	平成 26 年 4 月	大修館書店	共著：藤森裕治、 <u>高草真知子</u> ほか 16 名 評論教材「言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの」(北原保雄)の教師用指導書を執筆した。頁 131～154、390～398/398
4) 国語表現 指導資料	共著	平成 27 年 4 月	大修館書店	共著：金子守、 <u>高草真知子</u> ほか 13 名 第一部「書いて伝える」、第二部「こちら悩みごと相談室」の教師用指導書を執筆した。頁 19～46、334～339/359
5) 新編国語総合 改訂版 指導資料 1	共著	平成 29 年 4 月	大修館書店	共著：高橋龍夫、 <u>高草真知子</u> ほか 11 名 評論教材「人生は『動詞』で変わる」(齋藤孝)の教師用指導書と言語活動例を執筆した。頁 114～137、70～73/262
6) 精選国語総合 新訂版 指導資料 1	共著	平成 29 年 4 月	大修館書店	共著：鳴島甫、 <u>高草真知子</u> ほか 19 名 コラム「表現を味わう①」、「表現を味わう②」の教師用指導書を執筆した。頁 142～145、357～360/389
7) 精選国語総合 新訂版 指導資料 2	共著	平成 29 年 4 月	大修館書店	共著：山下直、 <u>高草真知子</u> ほか 16 名 コラム「表現を味わう③」、「表現を味わう④」の教師用指導書を執筆した。頁 169～173、288～291/380
8) 新編現代文 B 指導資料 1	共著	平成 30 年 4 月	大修館書店	共著：石塚修、 <u>高草真知子</u> ほか 18 名 随想教材「祖母が笑うということ」(又吉直樹)と「テーマを設定して調べた成果をまとめる」の教師用指導書を執筆した。頁 327～348、427～430/439
(学術論文)				
1) 創作指導の史的考察—昭和 20 年代から 30 年代を中心に	共著	平成 8 年 8 月	人文科教育研究 第 23 号 頁 27～37/79	共著：塚田泰彦、 <u>高草真知子</u> ほか 7 名 作文教育における創作指導の意義について、昭和 20 年代から 30 年代の教科書や実践をもとに考察した。
2) 文学を楽しみ、読書の輪を広げる	共著	平成 18 年 9 月	月刊国語教育研究 第 413 号 頁 22～27/60	共著：紅野敏郎、 <u>高草真知子</u> ほか 16 名 特集「文学の授業—比べ読み・重ね読み」の中で、高校と大学で実践した授業を紹介

3) みんなで作ろう「虫類図譜」— 言葉を絵と文章で表現する活動	共著	平成 20 年 3 月	新しい時代の リテラシー教 育(東洋館出版 社) 頁 302 ~ 315/449	し、比べ読みの意義について考察した。 共著: 桑原隆編、甲斐雄一郎、 <u>高草真知子</u> ほ か 26 名 絵と文章を融合させた新しい表現指導を提 案し、生徒作品の分析を通して、その意義 と効果について検証した。
(その他)				
1) 注目の新教材「気になる日本語」	共著	平成 20 年 5 月	国語教室 87 号 頁 18~19/64	新教材「気になる日本語」(北原保雄)を紹介 し、日本語の変化に対応する授業を紹介 した。
2) 「新編国語総合 三訂版」新 教材紹介	共著	平成 22 年 5 月	国語教室 91 号 頁 24~25/64	新教材を三作品紹介し、伝統的な言語文化 を尊重する授業案を示した。
3) ・国語科なんでも Q&A ・座談会「新『国語総合』の 魅力」 ・新教材「何のために働くの か」	共著	平成 24 年 5 月	国語教室 95 号 頁 13、14~19、 22/72	・「国語科なんでも Q&A」で、高校の先 生方の質問に答えた。 ・「座談会・新『国語総合』の魅力」で、 新教科書の特色と、これからの国語教育に ついて話し合った。 ・新教材「何のために働くのか」(姜尚中) の魅力と指導案を示した。
4) 座談会「今求められる『国語 表現』の力」	共著	平成 26 年 5 月	国語教室 99 号 頁 8~13/64	「座談会・今求められる『国語表現』の力」 で、実社会で必要な表現力と言語活動につ いて話し合った。
5) ・座談会「次世代につなぐ『国 語総合』」 ・語彙力・漢字力を育み、豊 かな表現力を	共著	平成 28 年 5 月	国語教室 103 号	・「座談会・次世代につなぐ『国語総合』」 で、国語教育の展望と教科書の役割につ いて話し合った。 ・「語彙力・漢字力を育み、豊かな表現力 を」で、語彙力、漢字力を伸ばすヒントを 示した。
6) ユーモアを味わい、心を豊か に	共著	平成 29 年 5 月	国語教室 105 号	新教材「祖母が笑うということ」(又吉直樹) が教科書に載る意義と指導のポイントにつ いて述べた。
7) 特集「大学入学共通テストと これからの授業」	共著	平成 30 年 5 月	国語教室 107 号	大学入試共通テストのプレテストの特徴と その対策について解説した。
8) 新刊紹介「唐詩和訓一ひらが なで読む名詩 100」(横山悠 太)	共著	平成 31 年 4 月	漢文教室 205 号	新刊『唐詩和訓』(横山悠太、大修館書店、 平成 30 年 4 月)の魅力、東京成徳大学で の実践をもとに紹介した。
〈教育実践記録等〉				
1) 高校生は「気になる日本語」 が気になるのか?	共著	平成 20 年 5 月	国語教室 87 号	麗澤高等学校で「日本語確認テスト」を実 施し、その結果をもとに高校生の言語感覚 について分析した。
2) 悩みごと相談に回答しよう	共著	平成 26 年 5 月	国語教室 99 号	麗澤高等学校で、悩みごと相談に回答する 授業を実践し、生徒の反応と様々な回答を 紹介した。

(注)「研究業績等に関する事項」
には、書類の作成時において未発
表のものを記入しないこと。

